



厄年と厄除け

東海七福神 毘沙門尊天 新西国十七番巖上観世音を奉安せる当山に今年も参詣して不況の風を一掃し一ヶ年の災難を払い福を招いて最良の幸福をつかんで下さい。

福は内!!

★★★
「豆撒きの中には沢山の景品が入って居ります」
「午前10時より正午12時半までに約計三回受付順に行います」

今年（令和6年）厄年 ※満年齢で表示	
男の厄年	24歳（平成12年生）
	41歳（昭和58年生）
女の厄年	18歳（平成18年生）
	32歳（平成4年生）
男女の厄年	61歳（昭和38年生）
（前後が前厄・後厄です）	

「厄年」というのは陰陽道からきたもので、身にふりかかる災いの多い年をいいます。一般的には数え年で、男性は二十五歳、四十二歳、六十一歳、女性十九歳、三十三歳、六十一歳といわれています。そのなかでも、男性の四十二歳、女性の三十三歳を大厄といい、その前年を前厄、後年を後厄と呼んで、この三年間は身を慎み、厄を払って災難から逃れるようにするのが良いとされています。特に女性の三十三歳は、育児疲れなどで体調を崩しやすいときでもあります。そういう意味からも厄除けを丁寧に行なう人が多いようです。

令和六年

開運増福

節分会

厄災消除

2月3日(土)



◎特別会員 志納金八千円（赤券）

開運増福厄除大祈祷、豆撒、福引、御札、御供物、縁起物、大福袋、記念品等

◎普通会员 志納金千円（祈祷・木札・お供物）

志納金五百円（祈祷・お札・お供物・福引き）【地元のみ】

◎交通安全、入学祈願等の御祈祷随時厳修致します。

※申し込み最終締切1月26日（金）まで

東海七福神 毘沙門尊天 奉安
新西国霊場 巖上観世音
三河信貴殿・願成閣



隣江山

潮音禅寺

【特別会員（豆まき）を付けています。】
（FAX・Eメールにても受付中）

田原市福江町
電話 32-0460 FAX 32-3330
潮音寺のホームページ
<http://choon-ji.jp/>
E-mail: rikan@choon-ji.jp
[Yahoo!にて「潮音寺」検索して下さい]

